

市道N5 単独 HPPEφ150

土工③
No. 0+15.7~No. 0+24.5

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

用水路沿線 単独 HPPEφ150

土工②
No. 0+2.0~No. 0+15.7, No. 0+28.4~No. 1+19.5

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

用水路沿線 単独 HPPEφ300

土工①(不断水分岐φ300+φ150 (上折))
No. 0~No. 0+2.0

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

市道N2 単独 HPPEφ150

土工④
No. 3+3.6~No. 3+7.6

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

市道N2 単独 HPPEφ150、100、75

土工⑤
No. 1+19.5~No. 4+14.0, No. 6+7.0, No. 7~No. 7+7.8
No. 8~No. 8+9.3, No. 9~No. 9+6.0, No. 10~No. 10+4.0

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

歩道 単独 HPPEφ150、50

土工④
No. 0+24.5~No. 0+28.4, No. 5~No. 5+5.3

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

市道N2 単独 HPPEφ20

給水管

(仮覆田) (本覆田)

改良土：設計CBR-8%以上

設 計	令和 6 年 度 番 号	水工第 19号
工 事 名	配水管布設替及給水管取替、工事 消火栓布設替（その1）	
工事箇所	見附市 芝野町 地 内	
概 要	給水改善によるもの	
	縮 尺	図 示
新潟県見附市上下水道局		

舗装傍面図

舗装版切断

$$8.5+9.5+3.5+4.0+1.5+2.5+3.5+3.5+3.3+3.3+3.3+3.3+3.3 \\ + (3.1+27.5+5.5+13.5+21.0+9.5+3.5+2.5) / 2 = 96.05\text{m}$$

舗装版破碎

$$\textcircled{1}12.0+\textcircled{2}30.5+\textcircled{3}3.0+\textcircled{4}9.0+\textcircled{5}8.8+\textcircled{6}8.8+\textcircled{7}20.0+ \\ \textcircled{8}525.5/2=354.9\text{m}^2$$

殻運搬

$$\text{車道部N5 } (12.0 \times 0.1) + \text{車道部 } (312.4 \times 0.05) + \\ \text{歩道部 } (30.5 \times 0.04) = 18.04\text{m}^3$$

殻処分

$$\text{車道部 } (16.82 \times 2.35) + \text{歩道部 } (1.22 \times 2.2) = 42.21\text{t}$$

床掘・残土運搬・残土処分

$$\text{車道部N5 } 12.0 \times 0.05 = 0.6\text{m}^3$$

不陸整正

舗装版破碎と同じ354.9m²

基層本復旧（粗粒度As②）、表層本復旧（密粒度As⑦）

$$\textcircled{1}12.0\text{m}^2$$

表層本復旧（密粒度As⑨）

$$\textcircled{2}30.5\text{m}^2$$

表層本復旧（密粒度As⑤）

$$\textcircled{3}3.0+\textcircled{4}9.0+\textcircled{5}8.8+\textcircled{6}8.8+\textcircled{7}20.0+\textcircled{8}525.5/2=312.35\text{m}^2$$

外側線

$$1.9+2.1+1.8+1.8+1.8+ (36.7+77.4+46.0) / 2 = 89.45\text{m}$$

矢羽根標示

$$1 \text{箇所 } (0.675\text{m}^2)$$

